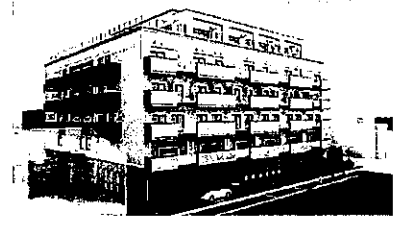


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会医療法人社団 正峰会 西舞鶴	階数	地上6F
建設地	京都府舞鶴市宇引土小字折原19-5	構造	RC造
用途地域	商業地域, 第二種住居地域, 近隣商業地域	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所, 学校, 病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年10月 予定	評価の実施日	2018年8月10日
敷地面積	2,254 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ゆう建築設計 丸川
建築面積	1,351 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	6,156 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 77% (141 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 77% (141 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 77% (141 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2.4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.6**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 2.2**

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 3.1**

Q3 室外環境 (敷地内) **Q3のスコア = 2.7**

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.4**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 3.9**

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 2.7**

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.2**

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b> 利用者が通常快適に過ごせるように標準的な設備とする。</p>		<p><b>その他</b> 建設リサイクル法に基づき分別解体と再資源化に努めるよう促す。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b> 外壁・屋根に断熱材を施す。開口部はペアガラス採用。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> 高耐久性能のある配管、ダクトを採用している。個室の広さを10㎡以上確保。ハートビル法及び京都府福祉のまちづくり条例の利用円滑化基準を満たす。</p>	<p><b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 京都府の条例に基づいた緑化量以上の緑地面積を確保している。周辺の街並みと調和した配色とする。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b> 空調機など高効率の機器を採用。ペアガラス等で高断熱化を図る。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> 自動水栓、節水形器具を採用している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> 設備機械エリアには防音壁を設置。設備機器には防振措置を施す。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される